



「生き方を学び合おう、高め合おう」

－生徒も先生も保護者も－

学校便り

白山市立松任中学校

令和5年9月8日

第9号

令和5年度学力調査の結果について

4月に3年生を対象に行われた学力調査における本校の状況をお知らせします。

学校では、学力調査の結果について分析・考察を行い、「確かな学力」を身につけられるよう、これまでの学習指導を振り返り、授業の改善に努めて参ります。

◇教科に関する調査◇



分析・考察および今後に向けて

教科	分析・考察	今後に向けて
国語	<ul style="list-style-type: none"> 知識及び技能の中でも「言葉の特徴や使い方に関する事項」についての問題の正答率は、やや県を上回った。 正答率が県や国と比較して最も低かったものは、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」設問だった。誤答の特徴は現代の発音に直さず、現代語訳を書いていた。 無解答率が高い設問の特徴として、問題形式が記述式だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の中で、根拠を明確にして自分の考えを書くまたは話す活動を意識的に取り入れる。事実以外に自分の体験や知識を結び付けることや、自分とは異なる立場の見方ができる課題に取り組ませる。 古典単元では、朗読に親しみ、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して書く問題に慣れさせる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 1・2年時の知識・技能を問うような問題は概ね正答率が高い。複数の資料から根拠を読み取り、自分の言葉で表現する問題が苦手な生徒が多い。 地理的分野の正答率がやや低く、歴史的分野はやや高い。歴史的分野では、古代から近世にかけての問題に関しては正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料を丁寧に読み取らせる。問題文が何を問おうとしているのかを考えさせる。 資料から読み取った内容を問題文と照らし合わせる力を身に付けさせる。 自分の言葉で表現させる際に、文型を用意する。 1単元に1コマ分は必ず資料の読み取りの授業を展開する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、説明する問題では正答率が高かった。 反比例の意味や四分位範囲など数学用語の意味理解が十分ではない。 記述式の説明問題では、無解答率の高い問題があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識技能を高めるために、音声計算やeライブラリなどを利用した問題演習の時間を取ったり、小テストを活用して、知識技能の習得を意識させたりする。 家庭学習をする際には自分の習熟度に合わせて取り組む問題を選択できるように指導する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識や実験操作を問うような問題がよくできていたことから、“具体的”なことはよく理解できていると思われる。その反面、知識をつなげて考えるものや実験結果から何が分かるかなど、具体的なことから“抽象的”なことを導き出すことが苦手な生徒が多いと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「活用力」：実験結果から何が分かるかを文章で書かせたり、発表させたりすることにより、論理的な思考力を鍛える。苦手な生徒には「キーワード」を与え、そこからつなげさせる。

英語	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を描写する英文から、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する問題は比較的できていた。 ・メールの英文を依頼する表現に書き換える問題では、言語の働きを理解して、書くことが苦手な生徒が多かった。 ・社会的な話題を扱った文章において自分の考えを書く問題では、無回答率が28.3%と高かった。書き手の意見などを読み取れていないと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある英文を書く力をつけるために、読んだことや聞いたことに対して自分の考えや意見をもつ機会をより多く設けて、1文だけで終わらず、理由とともに2～3文以上書けるように練習する。
----	--	--

◇質問紙調査（抜粋）◇

①結果

【「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒】

☆自分や将来の夢についての質問☆	本校	県平均
自分には、よいところがあると思う。	82.0%	79.8%
将来の夢や目標を持っている。	67.7%	65.8%

☆学校外の活動についての質問☆	本校	県平均
今住んでいる地域の行事に参加している。	30.7%	49.1%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	50.2%	68.2%

☆家庭学習に関わる質問☆						
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。						
時間	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満	全くしない
本校	2.8%	10.4%	35.5%	30.7%	15.9%	4.8%
県平均	4.9%	16.3%	37.6%	25.3%	11.5%	4.1%

②分析・考察および今後に向けて

分析・考察	今後に向けて
《将来の夢や自分について》 自己肯定感が高い生徒が多い。将来の夢や目標を持つ生徒の割合は昨年に比べ、微増してはいるが、体験活動や、自己理解の機会が十分ではないと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育学年指導目標（1年：自分を知る、2年社会を知る、3年：進路を選択する）に基づき、計画的に自身の将来について考える機会を設定する。 ・外部人材の活用を通して、働く大人に関わることで、働くことの意義を感じたり、より具体的な夢を抱いたり出来るようにする。
《学校外の活動について》 コロナ禍の影響もあり、地域の行事に参加するなど地域のよさに触れる機会が少なくなっているためと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の商店街での職場体験、ジオパーク遠足などを通して地域のよさを実感する活動をする。 ・地域の大人と交流ができる機会を設定する。
《家庭学習について》 家庭学習時間に1時間以上取り組む生徒は、県平均より約10ポイント少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科担当から、効果的な家庭学習の方法や内容を示すほかに、生徒同士が家庭学習の工夫を紹介し合う機会を設ける。 